



ふくしま教育ニュース

2018年11月 第51号 編集・発行 福島県教育委員会

ふたば未来学園中学校が来年4月に開校します!

本県2校目となる県立の併設型中高一貫校として「ふたば未来学園中学校」が開校します。建学の精神に「変革者たれ」を掲げ、これからの未来を担う人材を育成するため、最先端のカリキュラムを導入し、自ら学び課題を解決できる実践力を育みます。現在、双葉郡広野町に新校舎を建設しているところであり、来年4月より6年間の学びがスタートします。



高校のニューヨーク国連本部での研修

特色ある4つの学び

①実践力をみがく「未来創造学」

身近な地域を学習フィールドにして、探究活動を行います。地域の課題に向き合い、課題解決をするための学習を行います。



②世界に飛び出す学び

通常の英語の授業に加えて、ネイティブの英語教員と世界の課題について議論したり、プレゼンテーションを行う独自の授業「グローバルスタディ科」で実践的な英語力を身に付けます。

③深い学び・高い学力

国語・数学では一般の中学校より授業時間を多く設定し、習熟度に応じた少人数学習を行います。数学では発展的な学習を行うクラスにおいて高校の内容も一部先取りして学びます。現在進められている大学入試改革にも対応していきます。

④未来の主人公となる学び

各界のリーダーを招いてリーダーシップを学ぶ授業、正解のない複雑な課題について深く考える哲学対話や熟議の授業、演劇のワークショップを通して考える力や人間性を磨きます。



新校舎イメージ図

最先端の設備を備えた校舎、体育館、グラウンド、硬式野球場、サッカー場に加え、遠方から入学する生徒のための寄宿舎「立志寮」も設置します。

入学者選抜について [対象 小学校6年生]

■募集定員 60名

- ・一般選抜 募集定員の80%程度 (双葉郡枠 募集定員の20%程度)
- ・スポーツ選抜 募集定員の20%程度 (バドミントン・レスリングの2種目)

■出願期間

平成30年12月4日(火)～12月10日(月) [当日消印有効]

■入学者選抜

平成31年1月12日(土)
会場 福島県立ふたば未来学園高等学校

■入学者選抜の方法

- 一般選抜 適性検査・面接・調査書
- スポーツ選抜 実技審査・作文・面接・調査書

通学路の緊急合同安全点検を実施しました

新潟市で5月に発生した下校中の女兒被害に係る事件を受け、子どもたちの登下校の安全を確保するため、国において「登下校防犯プラン」が策定されました。

本県では、8～9月に県警や各関係機関と連携し、県内の公立小学校・義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の通学路について、確実な安全確保を図るため、危険箇所の確認や防犯の観点から緊急合同安全点検を、必要に応じ実施しました。



会津若松市立河東学園小での緊急合同安全点検(9/6)



一人一人を伸ばす教育の推進!



平成31年4月より「ふくしま学力調査」

県教育委員会では、児童生徒が現在の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。そこで、これまでの県版学力調査を改め、一人一人にあった効果的な指導方法を、学校、市町村、県が共有しながら、児童生徒のよさを伸ばしていけるよう平成31年4月より新たな「ふくしま学力調査」を実施します。

「ふくしま学力調査」の特長

学習内容の定着というこれまでの学力調査の視点に、「一人一人の学力が伸びているのか」という視点を加えています。

小学4年から中学2年までの5年間、調査結果を追跡していくことで、一人一人の児童生徒の学力の伸びの推移を捉えることが可能になります。

学力に限らず、目標に向かってやり抜く力や創意工夫する力など、非認知能力の実態把握が可能になります。

○対象学年と実施教科及び実施時期

- ・小学校4年生、5年生、6年生 国語 算数 質問紙調査
- ・中学校1年生、2年生 国語 数学 質問紙調査
- ・毎年1回、4月実施



算数・数学科コアティーチャー授業研究会

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた各地域の取組～

9月から10月に、算数・数学科コアティーチャー授業研究会を、県内6地域において、文部科学省から稲垣悦子調査官(小学校算数科)と佐藤寿仁調査官(中学校数学科)をお招きして実施しました(県中地区は12月に実施予定)。お二人には、本県の全国学力・学習状況調査の結果に基づく指導の改善・充実の在り方について、具体的な授業場面に即して御講演をいただきました。

また、小・中学校の算数・数学科の学力向上を担う本県の中核教員であるコアティーチャーが、全国学力・学習状況調査の結果や自校の課題を踏まえ、課題解決に向けた授業を公開しました。授業後は、授業者、域内コアティーチャー、本県指導主事らがパネリストとなり、「数学的な見方・考え方が動く数学的活動の在り方」、「育成すべき資質・能力」等をテーマにパネルディスカッションを行いました。参加した教員は、算数・数学の学力向上に向けた授業改善の視点や方策を明確にすることができました。

平成30年度 算数・数学科 コアティーチャー授業研究会



第1回授業研究会の様子(坂下東小学校)



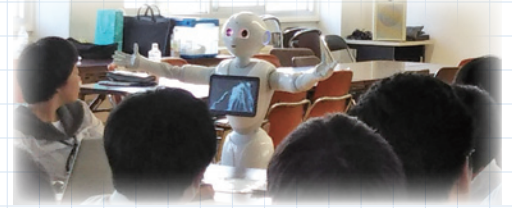
第2回授業研究会の様子(福島第三中学校)

参加者の感想

- 子どもから問いを引き出し、発言をつなぎながら学習を進めるコアティーチャーのコーディネートがすばらしかった。
- 参観した授業と全国学調をリンクさせた講演から、これからの授業づくりで大切にすべきことを具体的に理解することができた。
- 新学習指導要領のポイントに即した授業を見せていただき、大変勉強になった。教材の提示の仕方や子どもの意見の取り上げ方など、今後の指導のヒントになり、自分の指導力向上に直結する研究会だった。次年度も開催していただけるとうれしい。

福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成

「福島イノベーション・コースト構想」の実現を担う人材育成のため、浜通り地域等の対象高等学校が各校の特色を生かした魅力的な教育プログラムを展開しています。



先行して取り組んでいる県立高等学校

- ふたば未来学園高等学校 アクティブ・ラーニングによるグローバルリーダーの育成
- 小高産業技術高等学校 先端技術学習と地域探究による地域復興を担う人材育成

トップリーダーの育成

- 磐城高等学校
- 相馬高等学校
- 原町高等学校

工業人材の育成

- 平工業高等学校
- 川俣高等学校
- 勿来工業高等学校

農業人材の育成

- 磐城農業高等学校
- 相馬農業高等学校



地域理解ワークショップ



再生可能エネルギー
研究所施設見学



地域企業と連携した
ロボットスーツ体験



医療・介護ロボット開発会社を
訪問し、試乗体験

植葉遠隔技術開発センターでのドローン体験

～施設・設備等、教育環境の整備を進めます～

- トップリーダーの育成対象校 タブレット端末、校内WiFi、高性能プロジェクター等の整備
- 工業人材の育成対象校 汎用小型旋盤等、最新実習機器の整備
- 農業人材の育成対象校 植物工場等の整備

平成31年度は、新たに「いわき海星高等学校」が対象校に加わり、先端機器を取り入れた先進的な水産教育の実践を目指します。中通りや会津地域の専門高校においても、本構想に関連する先端技術関係施設の見学や外部講師を招いた学習などに取り組んでいきます。

切れ目のない支援へ

特別支援学校地域支援センターの取組

特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から卒業後までの切れ目のない支援体制を整えるため、県教育委員会では、今年度より県内の全ての県立特別支援学校に地域支援センターを設置しました。また、併せて本校15校の地域支援センターに各1名の教育支援アドバイザーを配置しました。

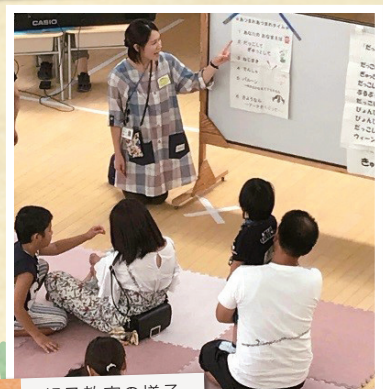
地域支援センターでは、乳幼児親子教室の開催、小中学校等へ訪問しての学習や生活上の課題等への相談、保護者や教職員の方々の来校相談等、特別な支援が必要な子どもの相談を随時行っています。

教育支援アドバイザーは、専門的な知見を活かし、学校等が課題の解決や改善が図られるように訪問や電話相談、来校により対応しています。0歳児から高校生まで、子育ての悩みや発達の遅れ、子どもの特性の理解等、幅広い相談内容に応じています。

ご相談等は随時受け付けていますので、お近くの特別支援学校地域支援センターへぜひご連絡ください。



来校相談の様子



親子教室の様子

特別支援学校地域支援センター連絡先一覧は [福島県 学校地域支援センター](#) [検索](#)

2020年度入試(現在の中学2年生)から

県立高等学校の入試制度が変わります

2020年度入試(現在の中学2年生)から、現在のI期、II期選抜を統合した前期選抜(特色選抜、一般選抜)と連携型選抜を3月上旬に、また現在のIII期選抜と同様の選抜を後期選抜として3月下旬にそれぞれ実施します。

2020年 3月4~6日**前期選抜**

各学校の特色に応じて実施する

特色選抜

受験生の個性や学ぶ意欲を重視し、特色に応じた選抜となるように選抜資料を活用し、能力と適性を総合的に判定します。1つの高校の1学科に出願可能です。

- 選抜資料 調査書、志願理由書、学力検査、面接、小論文・実技等(校長の判断により実施)
- 定員枠 募集定員の5%~50%

中学校における学習活動の成果を総合的にみる

一般選抜

学力検査の成績、調査書等を選抜資料とし、能力と適性を総合的に判定します。

- 選抜資料 調査書、学力検査、面接(校長の判断により実施)
- 定員枠 募集定員から特色選抜、連携型選抜の合格者を除いた人数

同一校で併願可能

共通の学力検査を実施

同一校で併願可能

**2020年 3月4~6日****連携型選抜**

連携型中高一貫教育を実施する中学校から高等学校へ出願する

連携している内容に応じた選抜となるように選抜資料を活用し、能力と適性を総合的に判定します。

- 選抜資料 調査書、学力検査、面接、連携型検査(校長の判断により実施)
- 定員枠 募集定員の30%以上

- ・特色選抜と一般選抜の両方に出願する場合、同一校の同じ学科または、異なる学科に出願できます。
- ・連携型選抜の志願者も、同一校において同じ学科または、異なる学科の一般選抜に出願できます。

2020年 3月16日**合格発表****特色選抜
連携型選抜**

一般選抜の順に合否判定をします。

※特色、一般、連携型の各選抜の合格者を併せて発表します。

2020年 3月24日**後期選抜**

調査書、面接及び小論文(または作文)の結果を選抜資料とし、能力と適性を総合的に判定し、3月25日に合格発表を行います。※定員を充足していない高等学校で実施します。

福島県 新たな高校入試

検索

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。ひとりで悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方々が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月~金 10:00~17:00

「ダイヤルSOS」

0120-453-141

〈子どものための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」

0120-916-024

※福島県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

福島県教育委員会 広告

検索

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

動画でご覧ください

日本全国で
2,100万件超*
加入する理由 公開中!

*全国39都府県すべての共済事業の合計

●充実の保障ラインナップ

こども型

総合保障型

入院保障型

熟年型

熟年入院型

新型火災共済



ホームページでもご覧いただけます。

スマホで見えてね!

助けあいの心から生まれた保障

県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 福島県民共済生活協同組合

〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニクスビル9F

0120-282-869

FAX 024(524)1400

【受付時間】平日 9:00~17:00

福島県民共済 検索

共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広告誌へのご意見をお寄せください
k.kouhou@pref.fukushima.lg.jp